

4 質の高い教育をみんなに

世界には読み書きのできない人が7億人います。

目標 4ってどんな内容なの？

誰もが公平に、質の高い教育を受けられる機会を広めるための目標です。



質の高い教育を受けることは、様々な社会問題の解決に繋がります。

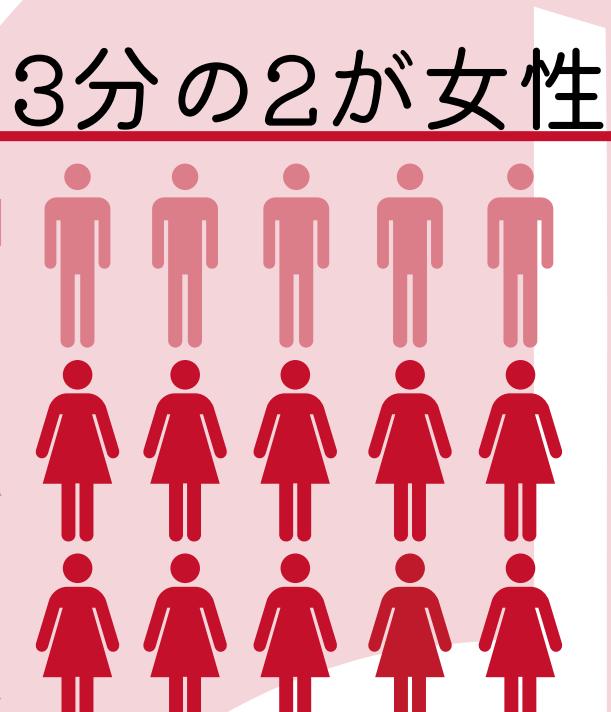
貧困に苦しんでいる人の場合、教育を受けることで将来安定した仕事に就くチャンスとなります。また、紛争や差別、環境問題などもしっかりと教育を受けることで解決に繋がる可能性も広がります。

また、これは子どもに限った話ではありません。大人には子どもに教育するだけの最低限の能力が必要となります。子どもに教えることができる大人を育てることも大切です。

(出典:<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/4-education/>)

読み書きのできない成人の数

**7億
5700万人**



どうして子どもは学校に行けないの？

親の経済格差が教育格差につながるからです。

貧困家庭で育つ子どもは学習機会が充分に与えられず、学力・能力が低下します。また、それにより読み書き・算術能力を欠き、安定した職につくことができないため、経済格差が広がり、教育格差も拡大するという悪循環に陥ります。



実際にどんな取り組みがあるの？

● ミズノヘキサスロン

ミズノ株式会社が開発した運動発達に必要な動作を身に付けるための運動プログラムです。

子どもの肥満率が40%を超えていたベトナムではこのプログラムが初等義務教育の体育に採用され、これまで32万人の子どもたちが体験し、運動の楽しさを学びました。

(出典:<https://corp.mizuno.com/jp/articles/0001.aspx>)



● ノンフォーマル教育

様々な理由で教育を受けられない、受けられなかった子どもや成人を対象に学校組織以外の場で、学びを提供するという活動です。

ノンフォーマル教育は様々な状況に柔軟に対応できるので、より多くの人々に教育を受ける機会を提供することが期待されています。

(出典:https://volunteer-platform.org/words/other_s/non-formal-education)

● 持続可能な開発のための教育 (ESD)

気候変動から、ジェンダー問題、貧困問題まで現代社会の様々な分野の問題について自分で考え、行動する人材を育てようとする教育です。

世界中でこの取り組みが行われており、持続可能な社会の実現を目指しています。

(出典:<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm>)

質の高い教育って？

誰もが平等に、十分な学びの機会を与えられることです。

教育の水準を比べる一つの目安として、識字率があります。字の読み書きができるないと「立ち入り禁止」の看板が読めず危険な場所に入ってしまう可能性があります。また契約書が読めないため、トラブルに巻き込まれる可能性が高くなってしまうかもしれません。

字の読み書きはもちろん、その他さまざまな教育を行う上で、環境を整えることがまず大切です。現在、途上国には教員不足・学校の設備が整っていない・教科書が足りないなど、様々な課題があります。また、貧困・ジェンダー・障がいなどの理由により、学校に通うことができない子供も数多くいます。こういった人たちが十分な学びを得られる環境を作ることが質の高い教育につながってきます。

(出典:<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/4-education/>)



解決のために

私たちにできること！！

1. 現状を知る

本や映画、インターネットなどを利用して世界や日本の教育の現状を知ろう。



2. 募金する

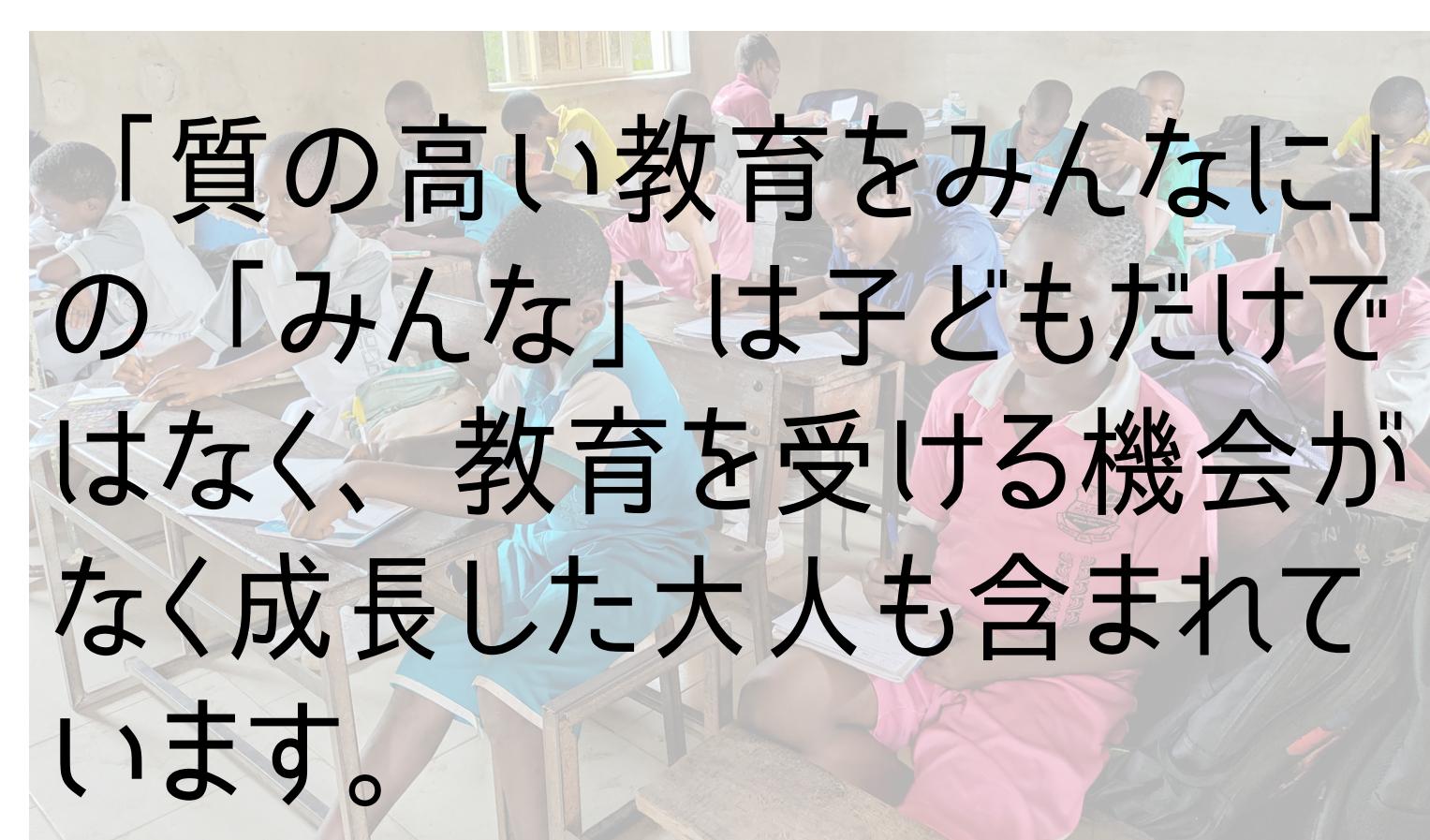
● 日本ユニセフ協会

活動はすべて募金と政府拠出金から成り立ちます。昨年度は237億円もの募金収益を得て5000万人の子どもたちの教育機会を提供しました。

コロナ禍でも、3億人の子どもたちを遠隔教育で支援しました。

● ワールドビジョンジャパン

国際NGOの組織です。昨年度、61億円の募金補助金収益で紛争地域の学校運営、コロナ禍での家庭学習を支援しました。



THE GLOBAL GOALS